

次世代型陸上戦闘員システムの実現に向けて ～先進個人装備システム～

○柳原 康功、大西 洋一、菊池 浩人、野見山 武徳
塩塚 稔也、堀 俊祐、柳田 勝志、齋藤 靖之、西岡 俊治
(防衛省技術研究本部先進技術推進センター)

特徴

各種センサを搭載し、隊員間で情報共有が可能な個人装備システムである。

概要

陸上自衛隊が任務行動する際、相互の位置や進出経路や発見した目標の位置を知るため、印刷物である地図と磁気コンパス等が用いられている。

本システムでは、GPS等を活用することで、即座に相互の位置や、進出経路、発見された目標の位置を携帯型端末に表示される電子地図上で確認することができる。そのため、昼夜を問わず、より確実に正確な部隊行動に寄与できるものと期待されている。

本研究では、平成23年12月以降、陸上自衛隊と協力して、部隊運用を模擬した環境での運用実証実験（所内試験）を行っている。

当日は、これらの所内試験の実施状況等について発表する。

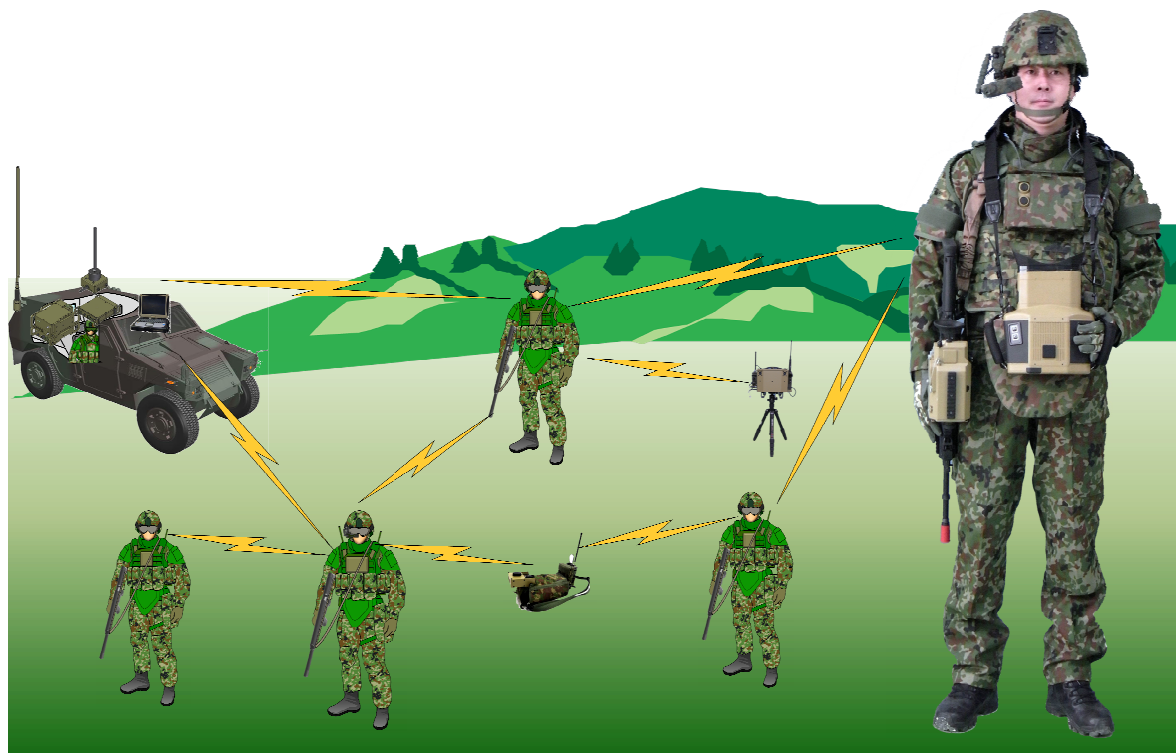


図1 先進個人装備システムの運用構想